

科目名称	音響制作演習Ⅱ			授業コード	20060731
担当教員	赤澤 聡				
単位数	2.0	授業形態	演習	科目分類	芸術工学基礎(2019年度入学生のみ)
年次	1	開講年度	2019	開講学期	後期
関連資格					
履修制限等	「その他」参照				
到達目標(目的含む)	音響メディア制作物であるオリジナル音楽・音声ドラマ番組・トーク番組を完成品まで仕上げる制作技術を身に付ける。				
授業の概要	前期授業「音響制作演習Ⅰ」に引き続き、音響「音」をメインテーマに、マス・コミュニケーション・メディアにおける表現を演習する。前期で習得した基礎を応用して、より具体的にオリジナル音楽・ドラマ番組・トーク番組の制作を行い、マスメディアにおける音響表現を完成させる。また演習で使用するコントロールルーム(レコーディングスタジオ)の基本的な使い方も習得する。 放送業界で30年以上のキャリアがあり、数多くのラジオ番組のディレクション(民間放送各社がおこなう賞の受賞を多数有す)を行ってきた担当教員が、その経験を生かし、特に映画制作、アニメーション制作、ラジオドラマ等に関わる音響関係のディレクション、録音、効果、CD制作他を、プロの視点から、実践的に指導する。				
授業計画	1:オリジナル音楽の制作(作詞) 2:オリジナル音楽の制作(作曲) 3:オリジナル音楽のレコーディング(リハーサル) 4:オリジナル音楽のレコーディング(本番・録音) 5:オリジナル音楽のレコーディング(本番・録音) 6:オリジナル音楽のレコーディング(編集) 7:音声ドラマ番組の制作(脚本・演出) 8:音声ドラマ番組のレコーディング(リハーサル) 9:音声ドラマ番組のレコーディング(本番・録音) 10:音声ドラマ番組のレコーディング(編集) 11:トーク番組の制作(脚本・演出) 12:トーク番組のレコーディング(リハーサル) 13:トーク番組のレコーディング(本番・録音) 14:マス・メディアにおけるプロモーションの方法 15:成果物の完成/後期講評				
授業時間外学習	実際の放送番組・音楽CDの名作から最新作品までを、制作サイドの視点に立ち、関心を持ち聞いて見ることが重要。				
評価方法	実習への取り組み、成果物で評価する。出席が2/3に満たない場合はE評価とする。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	制作演習を行う授業回では、現実の制作現場の視点に立ち、良かった部分・改善すべき部分を個々にコメントする。				
使用テキスト	オリジナルテキストの配布。				
参考テキスト・URL					
各自準備物	適宜授業内で指示する。				
実習費					
その他	前期授業「音響制作演習Ⅰ」の単位取得者のみ履修可能。 2018年度以前入学生において、この科目の単位修得は、まんが表現学科専門科目(他学科生は自由区分)扱いとなるので注意すること。 ※2018年度以前科目名称:音響メディア制作演習Ⅱ				